

# 国労東海

東京都港区新橋5-15-15  
交通ビル4階  
発行責任者 渡邊良成  
編集責任者 高木 宏

## 第27回 東海本部大会・代議員発言特集

第27回国労東海本部定期大会では、運動方針等について代議員22名が発言しました。代議員からは、「分会での取り組み」を中心に「災害対策」「出向」「専任社員」等の改善や対策の強化を求める声が多く出されました。また、組織拡大については、「拡大への決意を新たに」と言った発言が中心となりました。(発言順、敬称略)

### 鈴木和巳 (貨物協議会議長)

潮干狩りは多くの家族が集まり、組織拡大に大いに役立ちました。貨物会社は、黒字をめざし、人件費の抑制や効率化を進



参加者全員が団結ガンパロー

め、賃金や労働条件でJR内格差は拡大しています。その格差を解決できるのは国労であり、国労内での客・貨の連携がますます重要になっています。

### 分会活動の活性化を

小海誠 (静岡) 支部は、分会への結集を呼びかけ、支部執行委員会では必ず分会報告を議題としています。分会報告を行うことにより、支部が活性化されました。長期間の出向者がJRに戻れることと出向手当の見直しを、国鉄闘争の総括をしつかり行い、これから見据えた運動を望む。病気療養中の組合員が、復帰できる職場の確保をお願いしたい。

### 職場で要求の獲得

那賀英徳 (新幹線) 分会で労働協約改訂のアンケート調査や集会を行い、要求を作成して現場管理者との話し合いを進めた結果、「現場から上申します」という回答や古い機械が新品になるなどが改善されました。JALの不当解雇問題で、国労も支援された恩を返す気持ちで支援しています。

土屋恵輔 (名古屋) 若年で

により始業時刻(勤務時間内)の起床報告となることを求めます。新採対策で、新採社員に渡すグッズは、見た目の良いものにする工夫が必要です。

### 萩原正輝 (静岡) 駅職場の

若い人は、勉強会が多くて休みが取れない状態に、不満が多く出ています。これらの不満を要求として改善するのが国労の役目です。昇進試験では、自分も受かって、国労にいても差別がない事を明らかにしたい。

### 原発なくせの闘いを

中原明 (新幹線) 大阪ではエリア外の異動が多く、国労は出向者も多い。高齢でのエリア外の異動は業務上からもメリットがないはず。会社との和解交渉が生かされているのか追及を。原発問題では、関電へのデモを行ってききました。リニア問題は、原発などエネルギー問題からしても問題があるので明確な態度を。

### 大西憲二 (名古屋) 三重県内

では外部委託で駅の無人化が進んで1年で8駅。56キロもの間が無人になり、地域からは公共性がないがしろにされていると不満の声が多く出ています。

利用者へのサービスをきちんと考えてもらいたい。名松線沿線地域では、早期復旧を待ち望んでいます。交通権の確立と公共交通を守る闘いが重要となっている。原発問題も闘いを更に強化するべきです。

### 毎年の行動で成果

山手次敏 (新幹線) 春闘の統一行動で昨年を上回る延べ60名が参加し、毎年の行動で少しずつ成果があります。JALの支援では、毎月の分会執行委員会一人一品とし、全組合員に千円が目標です。専任社員に忠告しないで退職する人もいて、一人ひとりの聞き取り調査を分会で行っています。

### 篠崎昭泰 (新幹線) 管理者

が国労組合員と若い社員との接点を持たせないようにしています。年休取得の抽選で、取れないので用事がなくても申し込んで悪循環が発生しています。災害で遅延した際には、食事も休憩するところも確保されないような状況は、改善させる必要があります。津波などの安全マニュアル作成と訓練の実施が必要です。

(2面に続く)

「がん」の保障 <生きるためのがん保険Days(デイズ)>		「生きる」を創る.Afrac			
保険期間:終身(抗がん剤治療特約は10年更新) 契約年齢:0歳~80歳、スタンダードプラン 入院給付金日額10,000円の場合		生きるためのがん保険DAYS(デイズ) スタンダードプラン			
初めて診断確定されたとき		◆月払保険料(団体取扱) (2011年4月1日現在)			
がんの場合	一時金として 100万円	入院給付金日額10,000円 定額タイプ保険料			
上皮内新生物の場合	一時金として 10万円	払込期間:終身(抗がん剤治療特約は10年更新)			
診断給付金		35歳	45歳	55歳	65歳
入院したとき	入院給付金 1日につき 10,000円	男性	3,656円	5,608円	9,360円 15,190円
通院したとき	通院給付金 1日につき 10,000円	女性	3,734円	5,274円	6,864円 9,048円
手術したとき	手術治療給付金 1回につき 20万円	<抗がん剤治療特約>の更新後の保険料は更新時の年齢・保険料率によって決まります。			
放射線治療を受けたとき	放射線治療給付金 1回につき 20万円	<募集代理店>			
抗がん剤治療を受けたとき	抗がん剤治療給付金 1カ月 10万円 (すべての保険期間を通じて通算600万円まで)	アベニール株式会社 AF007-2011-0186 4月25日			
(上皮内新生物は対象外)	抗がん剤治療給付金 1カ月 5万円	TEL: 03-3437-6810 FAX: 03-3437-6822			
プレミアムサポート	訪問面談サービスと専門医紹介 (このサービスは、株式会社法研が提供するサービスです)	〒105-0004 東京都港区新橋5-15-5交通ビル3F			
●詳しくは、パンフレット(契約概要)をご覧ください。		〒163-0456 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル 当社保険に関するお問い合わせ・各種お手続き コールセンター 0120-5555-95			



# 大会代議員発言・1面より

**神田茂樹** (静岡) 昨年の台風被害による不通区間のバス代行で、運転士が道路をよく知らない、定員オーバーで乗れない、などで大混乱でした。国労は利用客への案内強化、バスの増発などを会社に申し入れましたが、明確な対応がありませんでした。運休列車の自由席特急券を1ヶ月以上も販売し続けた駅もあり混乱しました。リニアや新幹線に手厚く、在来線の設備投資は手薄、在来線への設備投資や地方線の災害対策を求めます。

**水野潤一郎** (静岡) 静岡では出向者の懇談会を毎年ブロックごとに開催し、職場実態や組合員の状況把握、労働条件改善の対策の場としています。東海本部は、この間の国労運動の成果や実例を列挙したパンフレットを作成してほしい。パンフレットを出向先での宣伝や職場改善や運動、組織拡大に役立てたい。

**武藤豊治** (静岡) 御殿場線は、ダイヤ改正で2駅が無 nhân化になり、ICカードの乗り越し精算を車掌が行い、ワンマン電

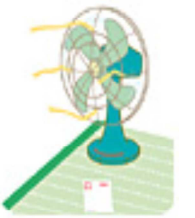
車では運転士が行い遅延が発生します。乗客が乗り継ぎできないことも発生し乗務員への苦情も多くなりました。支社が調査に入り、遅延の場合は集札しないことになりました。この間の対応について問題が多すぎです。

**木下淳治** (名古屋) 多治見分会内の3駅が民間委託され、分会は地域にチラシと東海の会の利用者アンケートを配りました。無人駅の治安問題で地域住民は多くの不安を持ち、自治体が負担し駅を維持する構図です。自治体が動いて委託が加速、という残念な側面もあり、何とか委託解消を。連合加入問題が全大会で出たようだが答弁を求めます。リニアについては明確な態度を求めます。

## 無人駅の解消を

**浜島由紀夫** (名古屋) JA L不当解雇撤回「愛知の会」の毎月の宣伝行動や集会、署名要請で団体を回り、「やればできる、誰でもできる」と実感しました。触車事故について、個人の意識付けだけではなく根本対策をして触車事故のない職場

安全で安心できる職場を国労は目指すべきです。



**塩沢好彦** (静岡) 勤務専門委員会の休会について、提案されましたが、私は以前、勤務専門委員会の資料で、大変役立つことがあり、今後もありえると思います。専門の人材育成が必要であり、年に数回でも行って存続をお願いします。

**小川敏広** (静岡) 貨物職場では若い人の不満は増大し、「10年後の賃金はわかるが生活は見えない」と言って打開策を模索する人もいます。この声を受け止め、仲間として関わり、労使対等の国労であることを明確にして取り組まねばなりません。分会執行委員会や機関紙などで組織拡大を目指し組合員に徹底することが必要です。西川君が加入しましたが、国労への理解による成果でした。国労運動の伝統に自信を持ち、全組合員が組織的に拡大をめざします。

**濱田博** (新幹線) JR東海

は毎年の設備投資、内部留保の割には賃金が上がらない。会社はカメラ設置は旅客の暴力の抑止としているが、旅客がいない箇所にもカメラを設置していません。暴力がある箇所にカメラがなく、社員管理が目的でしょうか。おかしいことはおかしい、と声を出すと「よく言ってくれた」という小さな支持者も出ます。そこから拡大の可能性があります。

## 機関全体で組織拡大を

**森一隆** (新幹線) 災害時のことで、旅客への対応、避難誘導、帰宅困難者への対応などの会社マニュアルが不十分。震災時に旅客から怒られて対応を管理者に聞けば「自分で考えろ」と言われています。早期にマニュアルの整備をさせるべきです。60歳以降の労働条件改善が急務です。リニアに対する見解を求めます。

## 災害マニュアル整備

**田中康夫** (新幹線) 列車見張員の触車事故で外注会社の見張員は、JRの様に研修を受けて資格を得ているのか。警備会社の教育はあるのか。列車見張員は安全な場所に立つての見張りであり、触車しないはずす

ので追及してほしい。以前は専任で行う見張りも、時間限定の見張りに変わったことも。リニアで巨額の資金を運用する一方で、新幹線では部品が「使えるうちは使う」として、労災も多発して安全面に問題があります。

**加藤修一** (名古屋) 事故時には地元自治体や住民の応援や協力があがり、何かあったら自治体や住民の協力が不可欠でした。一方、JR会社は、敷地利用で自治体からも借地料をとるという姿勢です。JRは公共交通を守るという姿勢はなく、駅の無人化による駅の安全が自治体や住民まかせになります。リニアでも住民から不満が出ています。

## 勤務専門委員会発言

**佐々木章** (代表) 勤務専門委員会は発足して15年間、労基法や就業規則を真剣に検討・議論し成果を出してきました。今日の課題は、定期健康診断、出張の移動時間や乗務員問題などです。今後は、勤務問題を地方などで検討し職場での生かし方が課題です。

**書記長集約**

組織拡大についての発言が多

く出されました。この間、職場の問題を職場三大要求などとして闘ってきました。要求はすぐに勝ち取れないものもあり、要求を勝ち取るまで出し続けることが国労の役目です。

今、原発問題での大きな動きに発展し、様々な人が参加しています。JRの若い社員も正義感や不満を一杯持っています。職場で私たち国労が、組合員一人ひとりがきちんと生き様を出し、訴え、ともに闘いを作り上げていくことが重要です。東海本部は、ホームページを開発して様々な事象を載せ始めています。職場の国労掲示板の活用と同じようにホームページを有効に活用してください。

JAL闘争など不当解雇との闘いを資本による同じ労働者への攻撃という本質を踏まえて支援と連帯を強化し、闘う労働組合と運動の拡大を進めましょう。鉄道の公共性でリニアやローカル線廃止の問題は、自治体や住民と連帯して交通権と公共交通を守る運動として奮闘しよう。

最後に、やはり組織拡大が課題です。この1年は全組合員が「石にかじりついてでも組織拡大を」勝ち取りましょう。